

武庫川団地における団地活性化の取組みが 「2023年都市住宅学会業績賞」を受賞



独立行政法人都市再生機構（以下「UR」）が、阪神電気鉄道株式会社（以下「阪神電鉄」）、学校法人武庫川学院武庫川女子大学（以下「武庫川女子大学」）と推進している、武庫川団地における産学連携による団地活性化の取組みが、公益社団法人都市住宅学会により都市住宅学、都市住宅計画・事業、都市住宅政策等に関する優れた業績に送られる「都市住宅学会 業績賞」を受賞しました。

三者は、2014年以降、包括連携協定を個々に締結しております。武庫川団地における2021年の「赤胴車」の設置を契機に、阪神電鉄・武庫川女子大学の産と学が、URとURグループとの連携をさらに深め、様々な取組みを展開し団地活性化に成果を上げていることが高く評価され、今回の受賞に至りました。

URは今後も、阪神電鉄及び武庫川女子大学との産学連携を活かし、「赤胴車」を地域のコミュニティ拠点として活用しながら、地域の更なる活性化に取り組んでまいります。

1 業績の名称

武庫川団地におけるURグループ（UR、JS、URコミュニティ）×阪神電気鉄道×武庫川女子大学の産学連携による団地活性化～コミュニティ活動の拠点「赤胴車」～

2 実施主体

- ・独立行政法人都市再生機構（UR）
- ・日本総合住生活株式会社（JS）
- ・株式会社URコミュニティ
- ・阪神電気鉄道株式会社
- ・学校法人武庫川学院武庫川女子大学

3 受賞者（都市住宅学会員）

（団体） 独立行政法人都市再生機構西日本支社

支社長 村上 卓也

（個人） 武庫川女子大学教育研究社会連携推進室

室長 特任教授 大坪 明

武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科

准教授 水野 優子

武庫川女子大学食物栄養科学部食物栄養学科

准教授 脇本 景子

4 講評

本事業は、高齢化や人口減少が続く武庫川団地に、役割を終えた阪神電気鉄道の車両「赤胴車」を設置して地域のコミュニティ活動の拠点とすることにより、団地の活性化をめざすものである。沿線地域の活性化及びまちづくりをめざす阪神電気鉄道、教育・研究を通して地域活性化支援を継続してきた武庫川女子大学、そしてU Rグループがタッグを組んだ本事業は、各組織の持つ資源やノウハウの強みが発揮された産学連携の有効なモデルであると評価される。

赤胴車は単なるモニュメントではない。誰もがアクセス容易で維持管理の継続性が担保された団地の集会施設であるとともに、長年にわたり地域住民の移動を支え、幅広い年代層から親しまれてきた求心力の高い地域資源である。その赤胴車と周辺の広場で行われる様々なイベントは、地元自治組織を含む関係者の密な連携によって展開される独創性の高いものとなっている。

赤胴車の認知度が上がり、団地外からも来訪者を増やしている。また、団地入居率は増加傾向にある。さらに団地内・外の住民が抱く地域イメージの向上が確認されており、本事業の社会的貢献度は高いといえる。

5 業績の概要

U Rにおける西日本最大の武庫川団地（賃貸住宅 5,643 戸、分譲住宅 1,593 戸）では 1990 年頃から人口が減少し賃貸住宅の空室が増加していたが、2001 年にU Rが団地再生マスタープランを策定し、広場や立体駐車場の整備、バリアフリー化等の環境整備を行い、2009 年以後団地マネジメントを進めた。

単独では困難な地域課題の解決に向け阪神電鉄や武庫川女子大学と連携を図るなか、2014 年以降、三者は包括連携協定を個々に締結し、武庫川女子大学とはコミュニティ活動拠点運営や健康相談、阪神電鉄とは「チアフル親子カフェ」の開催などといった取り組みを実施している。

2021 年 7 月に「赤胴車」を地域コミュニティの拠点として設置し、子育て支援、マルシェなど多くのイベントを開催している。これらにより空室率が大きく改善し、近年は子育て世代が増加する傾向もみられる。

6 問合せ先

担当課 独立行政法人都市再生機構

西日本支社総務部総務課 担当者：高木

兵庫エリア経営部企画課 担当者：渡部

電 話 06-4799-1231、078-242-6634